

第3章 海岸保全施設の整備に関する事項

1 整備対象箇所の抽出【検討3】

整備対象箇所は、津波による浸水予測や既往の高潮被害及び地区ごとの特性や課題を踏まえた上で、以下の4つの視点で検討・抽出した。

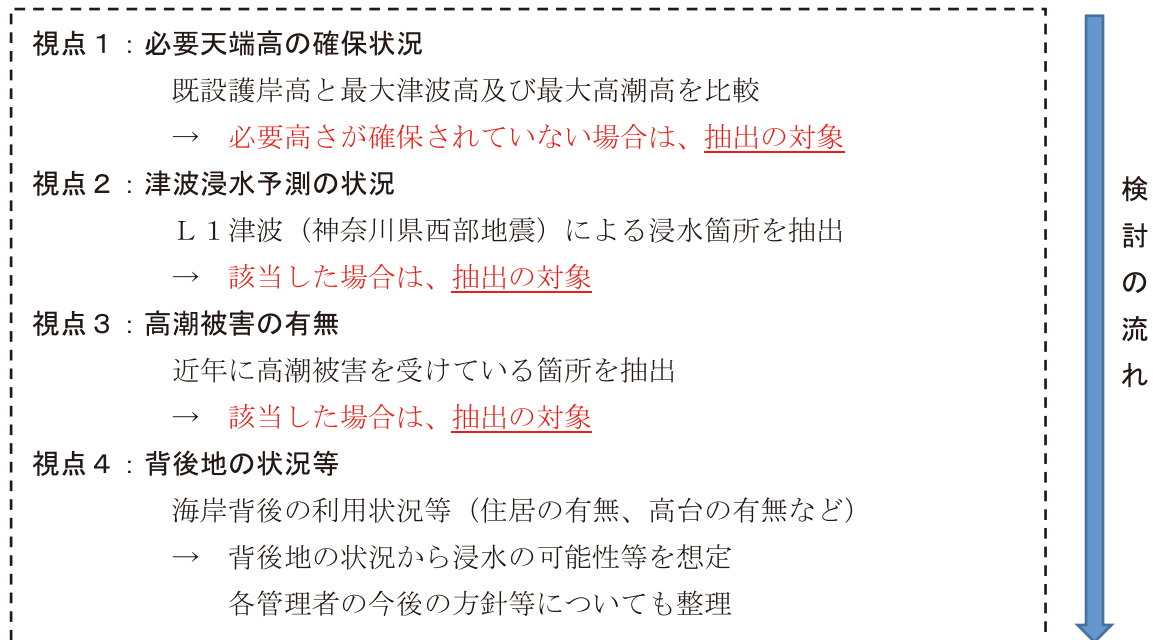
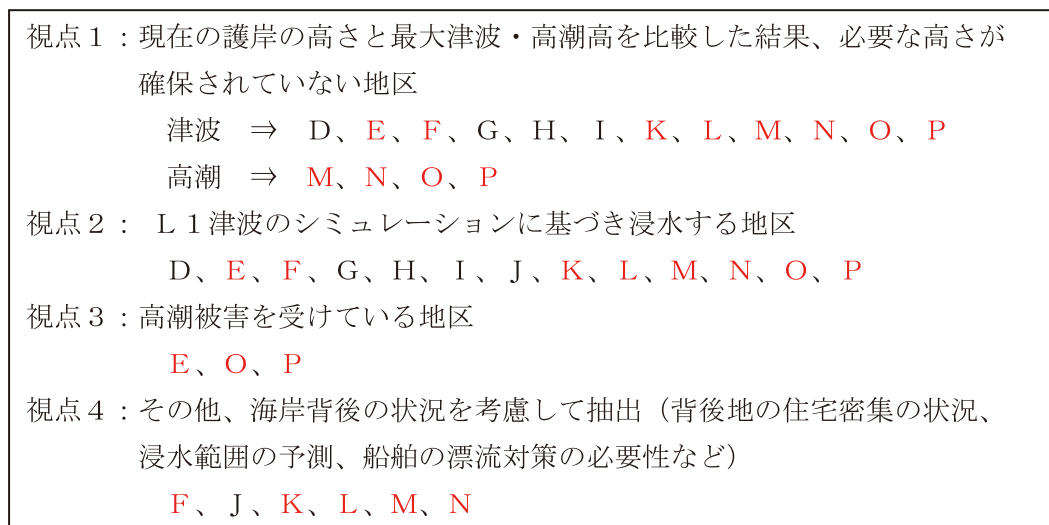


図-3.1 整備対象箇所抽出の検討の流れ

4つの視点で検討・整理した結果については、26、27ページ「表-3.1」のとおりであり、また、28ページから36ページの「図-3.2」から「図-3.19」にある各地区の海岸の状況等を踏まえ、視点ごとに抽出した地区は以下のとおりである。

この結果、【検討3】により整備の必要性が高い地区はE、Fなど8地区となった。



結論3 整備の必要性が高い地区 ⇒ E、F、K、L、M、N、O、P

表-3.1 整備対象箇所抽出一覧表

エリア	漁港海岸名		視点1 ^{※1}				視点2	視点3
			既設護岸高	最大津波高 ^{※2}	最大高潮高 ^{※3}	津波浸水の有無 ^{※4}	高潮被害の有無 ^{※4}	
1	A	横須賀海岸 (秋谷・大崩浜田地区)	+5.7	+3.5	○	+4.98	○	
	B	久留和漁港海岸 (久留和地区)	+3.5	+3.3	○	+2.96	○	
	C	横須賀海岸 (秋谷・海老田地区)	+5.5	+3.8	○	+3.55	○	
2	D	秋谷漁港海岸 (秋谷地区)	+4.2~+5.7	+4.2	×	+2.78	○	あり
	E	佐島漁港海岸 (芦名地区)	+3.3~+3.6	+3.9	×	+2.42	○	あり
	F	佐島漁港海岸 (本港地区)外洋側	+2.2~+4.0	+5.9	×	+2.09	○	あり
3	F	佐島漁港海岸 (本港地区)内湾側	+2.2~+2.8	+2.7	×	+2.09	○	あり
	G	佐島漁港海岸 (谷戸芝地区)	+2.6	+2.7	×	+2.13	○	あり
4	H	浄化センター	+1.5	+3.6	×	—	—	あり
	I	自衛隊駐屯地	不明	+3.2	×	—	—	あり
5	J	横須賀海岸 (長井地区)	+3.5	+3.3	○	—	—	あり
	K	長井漁港海岸 (井尻地区)	+2.6~+2.9	+3.8	×	+1.60	○	あり
	L	横須賀海岸 (長井地区)東側	+5.0	+3.7	○	+2.38	○	あり
6	L	横須賀海岸 (長井地区)西側	+2.9	+5.7	×	+2.38	○	あり
	M	長井漁港海岸 (本港地区)	+2.0~+2.9	+5.9	×	+2.09	×	あり
	N	長井漁港海岸 (新宿地区)	+2.0	+4.6	×	+2.68	×	あり
	O	長井漁港海岸 (漆山地区)	+1.8~+3.5	+5.2	×	+1.90	×	あり
	P	長井漁港海岸 (荒井地区)	+1.5~+3.1	+3.2	×	+2.16	×	あり
7	Q	一般公共海岸	+10m以上	+4.4	—	—	—	
	R	一般公共海岸	+4.4~+30m以上	+4.0	—	—	—	

※1 視点1は、「既設護岸高」<「最大津波高、最大高潮高」の場合に抽出し、○→満足、×→満足しない、とした。

※2 最大津波高は、県基本計画（H27.3）の策定時に検討された推算結果より設定した。

※3 最大高潮高は、「県基本計画（H27.3）[資料編]」より抜粋した。

※4 視点2、視点3は、津波の浸水被害が予測される場合と高潮被害があった場合に「あり」とした。

津波による浸水状況については、「神奈川県西部地震」による浸水想定(H27.3)により判断した。

※5 4項目の視点において、1項目以上該当する地区を整備対象箇所として抽出した。

○→整備対象箇所、△→整備対象箇所ではあるが、陸上自衛隊等の施設の管理者による整備が必要な箇所

視点4 想定される被害や背後地の状況等	整備の 必要性	整備対象 箇所 ^{※5}	優先する 対象被害
・住宅前面に護岸が整備され、津波浸水域がほとんどない。	低い	—	—
・漁港背後に津波浸水域が見られるものの、住宅への浸水はほとんど見られない。	低い	—	—
・住宅前面に護岸が整備され、津波浸水域がほとんどない。	低い	—	—
・前田川の河口付近で津波による住宅等への小規模な浸水が見られる。	高い	○	津波
・海岸背後には住宅が密集し、津波浸水が想定される。 ・市道前面の護岸で越波(高潮)被害が発生している。	高い	○	津波 高潮
・天神島周辺の住宅等に津波浸水が想定される。	高い	○	津波
・津波による船舶の漂流対策が望まれる。	高い	○	津波
・津波による住宅等への小規模な浸水が見られる。	高い	○	津波
・津波による浸水範囲は住宅地まで達していない。 ・処理場施設への津波浸水が想定される。	高い	△	津波
・津波浸水は駐屯地内であり、国道背後までは達しないと想定される。 ・防衛省独自で検討しているため将来的に調整が必要である。	高い	△	津波
・既設護岸高が津波・高潮に対して満足しているため、津波による住宅への浸水は川間川・武川からの影響と想定される。	高い	○	津波
・住宅が密集し、津波浸水が想定される。	高い	○	津波
・津波浸水は井尻地区及び高層住宅側からの浸水による影響と想定されるため、連続的な整備が望まれる。	高い	○	津波
・津波浸水が広く想定され、堤防(県整備)側及び長井漁港側護岸と連続的な整備が望まれる。	高い	○	津波
・津波浸水が想定され、特に高層住宅と漁港市場付近の浸水範囲が広い。 ・津波による船舶の漂流対策が望まれる。	高い	○	津波 高潮
・住宅が密集し、津波浸水が想定される。	高い	○	津波 高潮
・住宅が密集し、一部の住宅は海岸に面しているが、道路背後の住宅への津波浸水はあまり見られない。 ・高潮による被害が発生している。	高い	○	津波 高潮
・一部で住宅が密集しているが、津波浸水範囲は狭い。 ・高潮による被害(道路の通行止め)が発生している。	高い	○	津波 高潮
・全体的に崖地であり、防護すべき施設はない。	低い	—	—
・砂浜に津波浸水域が見られるが、住宅までは達していない。	低い	—	—

凡例

- : 整備対象外
- : 整備対象箇所
- : 独自の対策が必要な箇所

A) 横須賀海岸（秋谷・大崩浜田地区）：最大津波高=+3.5m

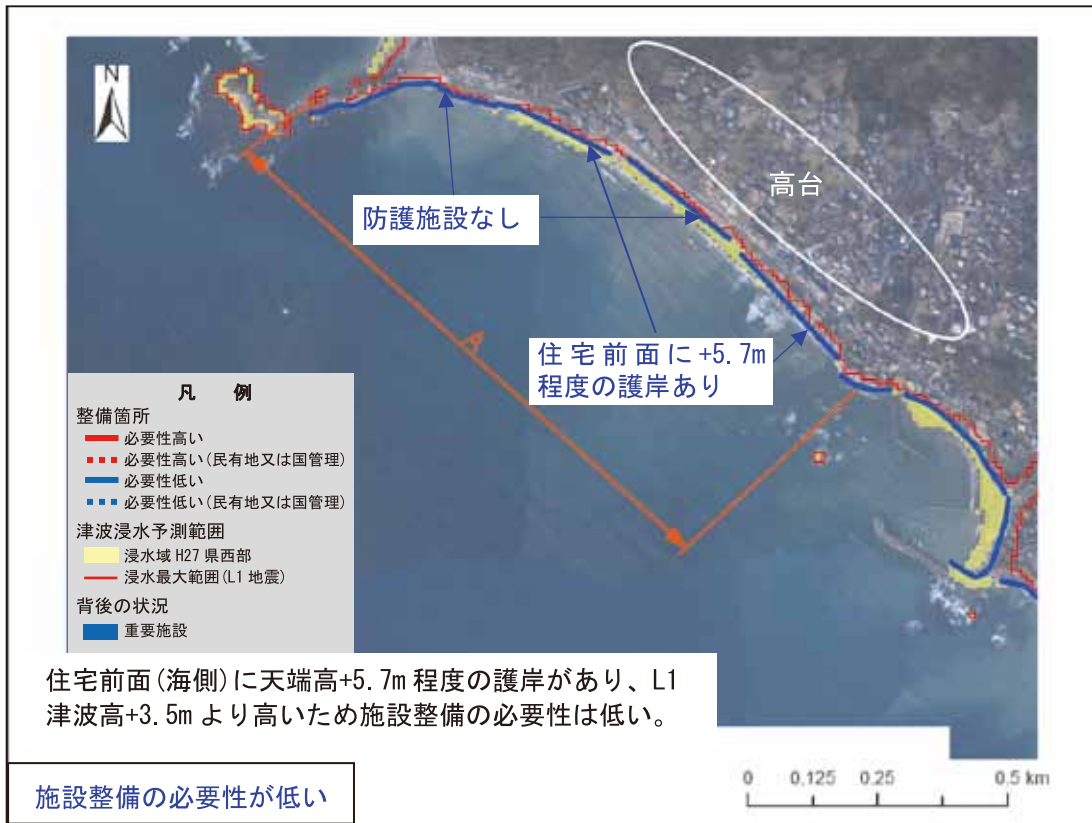


図-3.2 横須賀海岸（秋谷・大崩浜田地区）の整備対象検討図

B) 久留和漁港海岸：最大津波高=+3.3m

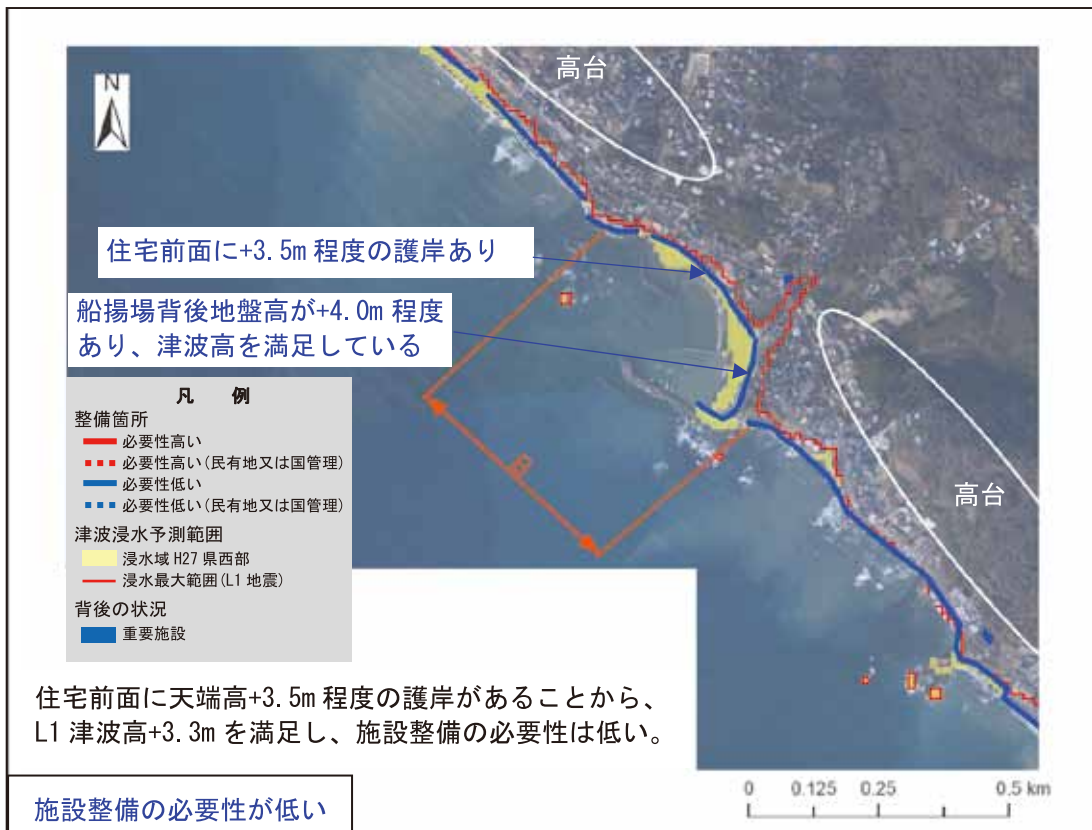


図-3.3 久留和漁港海岸の整備対象検討図

C) 横須賀海岸（秋谷・海老田地区）：最大津波高=+3.8m

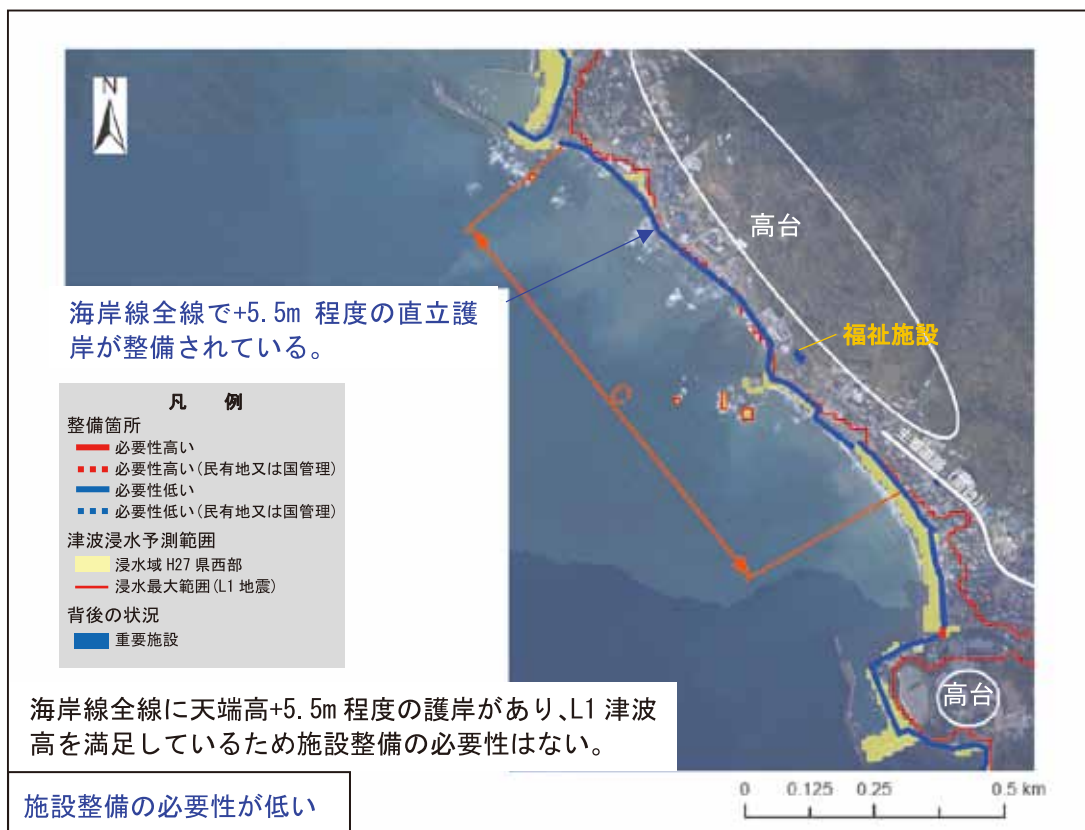


図-3.4 横須賀海岸（秋谷・海老田地区）の整備対象検討図

D) 秋谷漁港海岸：最大津波高=+4.2m



図-3.5 秋谷漁港海岸の整備対象検討図

G) 佐島漁港海岸（谷戸芝地区）：最大津波高=+2.7m



図-3.8 佐島漁港海岸（谷戸芝地区）の整備対象検討図

H) 浄化センター：最大津波高=+3.6m



図-3.9 浄化センターの整備対象検討図

I) 自衛隊駐屯地：最大津波高=+3.2m



図-3.10 自衛隊駐屯地の整備対象検討図

J) 横須賀海岸（長井地区）：最大津波高=+3.3m



図-3.11 横須賀海岸（長井地区）の整備対象検討図

K) 長井漁港海岸（井尻地区）：最大津波高=+3.8m



図-3.12 長井漁港海岸（井尻地区）の整備対象検討図

L) 横須賀海岸（長井地区）：最大津波高=西側+5.7m 東側+3.7m

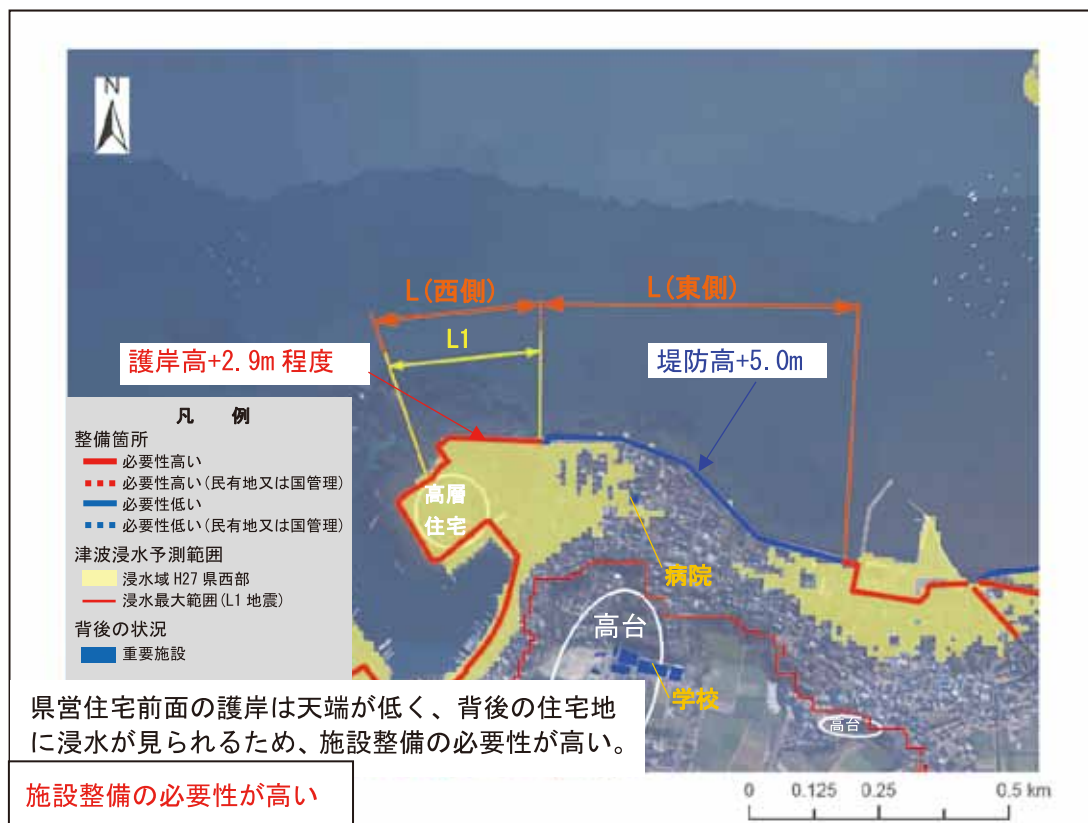


図-3.13 横須賀海岸（長井地区）の整備対象検討図

M) 長井漁港海岸（本港地区）：最大津波高=+5.9m



図-3.14 長井漁港海岸（本港地区）の整備対象検討図

N) 長井漁港海岸（新宿地区）：最大津波高=+4.6m



図-3.15 長井漁港海岸（新宿地区）の整備対象検討図

○) 長井漁港海岸（漆山地区）：最大津波高＝+5.2m



図-3.16 長井漁港海岸（漆山地区）の整備対象検討図

P) 長井漁港海岸（荒井地区）：最大津波高＝+3.2m



図-3.17 長井漁港海岸（荒井地区）の整備対象検討図

Q) 一般公共海岸：最大津波高=+4.4m



図-3.18 一般公共海岸の整備対象検討図

R) 一般公共海岸：最大津波高=+4.0m

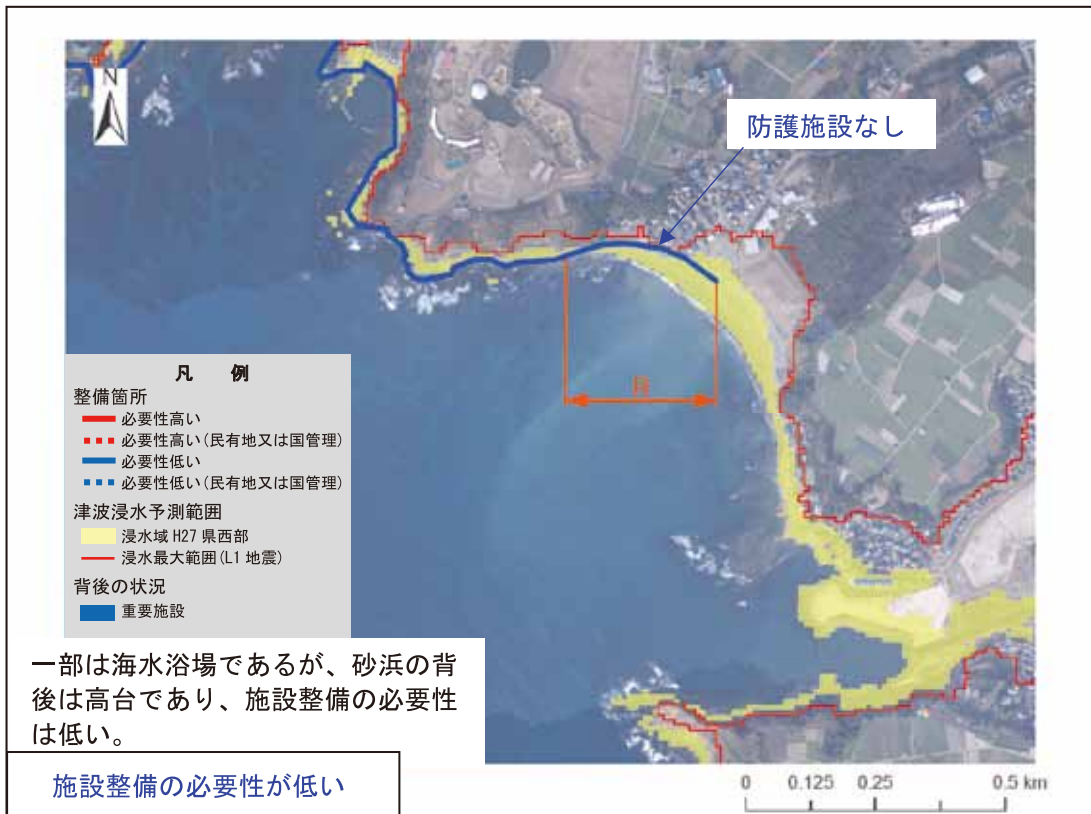


図-3.19 一般公共海岸の整備対象検討図